



## ICNK から金正恩への共同公開書簡

1月8日、「北朝鮮における人道に対する罪を止める国際 NGO 連合」(ICNK) が金正恩宛ての共同公開書簡(原文は英語)を、世界各地の主要な北朝鮮大使館に届けた。日本では10日、東京・千代田区の朝鮮総連中央本部会館まで持参したが、総連側は受け取りを拒否した。(編集部)

朝鮮民主主義人民共和国 平壤  
朝鮮人民軍最高司令官 金正恩 殿

独立した国際的非政府組織(NGO)である我々(団体リストについては本書簡末尾を参照して下さい)は、貴殿の父上の逝去の後、貴殿が朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)の指導者となったことを受けて本書簡をご送付申し上げます。そして、貴殿に対し、貴殿のリーダーシップ及び北朝鮮の評判を高めるとともに、北朝鮮の人びとの利益にもなると信じ、以下、いくつかの懸念及び意見を述べさせていただきます。

この一年が、貴殿及び北朝鮮国民にとって困難な難題の多い年になるのは明らかです。一方、貴殿がいかなる指導者として歴史に名を残すのかという観点及び、北朝鮮の全国民の安寧という観点からこの歴史的な瞬間を活かすのであれば、北朝鮮を人びとの人権と自由を尊重する国にするための大いなる機会ともなりえるのです。

長年北朝鮮問題に取り組んできた団体として、我々は、北朝鮮の人びとの置かれた状態を深く懸念しております。20万人以上の男性、女性、子どもが未だに監獄や強制収容所に拘束されたままであります。その多くは政治的理由で拘束されており、国際的に認められた罪を犯しておりません。過去拘束された人の家族や関係者であるというだけの理由で拘束されている人が多く、食糧や医療の不足ゆえに多数の被拘禁者が死亡に至るという最悪の奴隷状態を耐え忍んでいるのです。

北朝鮮政府は、市民的及び政治的権利に関する国際規約及び経済的・社会的及び文化的権利に関する国際規約を批准しており、よって同規約に規定される人権を遵守する義務を負うという事実にもかかわらず、2,450万人の北朝鮮国民の大多数は、その人権を侵害され続けています。

北朝鮮国民は、政府の決めた規範からの些細な逸脱でさえ、生活手段、自由、基本的人権、または生命までもを恣意的に失う結果につながりかねないという絶え間ない恐怖と危険に直面しています。しかも、人びとは独立した司法に訴え出る道を与えられていません。

極めて多くの政府部局や治安関係機関は、恣意的逮捕、無実の者の投獄、失踪/拉致、強制労働、拷問、そして処刑にまでも手を染めています。表現の自由、結社の自由、集会の自由、移動の自由、宗教の自由などの基本的人権は存在しません。政府発以外の情報へのアクセスは禁じられています。

数百万人の北朝鮮国民が毎日、飢えや栄養失調、そして不適切な医療に苦しんでいます。北朝鮮政府は最低限度(decent level)の対応をする能力と手段を持ち合わせているものの、過失又は意図的な政府方針の結果、対応をとっていないのは明らかであります。

北朝鮮政府は、いまや、人道に対する罪及び国際法の重大な違反の非難にさらされるに至っており、独立かつ公平な国連調査委員会(UN Commission of Inquiry)の設立が急務であると我々は確信しております。

貴殿の祖父である金日成氏生誕百周年を祝う2012年4月15日まであとわずか数ヶ月という北朝鮮史上重大なこの時期、我々は、最高司令官たる貴殿に対し、基本方針の変更を求めるものであります。我々は貴殿に対し、こうした過ちを改め、貴殿の政権においては組織的かつ広範な人権侵害をやめるよう強く求めます。

我々は、北朝鮮の人権状況に関する国連特別報告者を招へいするとともに、国連特別報告者や赤十字国際委員会などの国際的なモニタリング組織に対し「管理所」を含む全地域の拘禁施設へのアクセスを与え



るよう強く求めます。もうひとつの改革の重要な一歩として、集団処罰により「管理所」送りとなったすべての家族を、直ちに人道的理由により釈放するべきであります。この釈放は、北朝鮮国民の苦しみを取り除く重要な最初の一歩となるであります。同時に、国連及び国際社会における貴殿の評判を改善・強化するでしょう。

貴殿が、これまでの北朝鮮と異なり、人びとの人権、健康と幸福、個人の尊厳の完全な実現を目指す新たな北朝鮮を構築する機会を掴み取ることを心から願っております。そうすることで初めて、北朝鮮は、これまで求めてきた世界からの尊敬と安全を勝ちえるのであります。お返事をお待ちしております。

敬具

### 北朝鮮における人道に対する罪を止める国際 NGO 連合 (ICNK)

- ・ Advocates International Global Council
- ・ Amnesty International アムネスティ・インターナショナル
- ・ Asia Justice and Rights
- ・ Asian Federation Against Involuntary Disappearances 強制失踪者支援アジア連盟
- ・ Asian Human Rights & Humanity Association of Japan アジア人権人道学会
- ・ Burma Partnership (タイ) ビルマ・パートナーシップ
- ・ Christian Lawyers Association for Paraguay
- ・ Christian Solidarity Worldwide 全世界キリスト教連盟
- ・ Committee for Human Rights in North Korea (米国) 北朝鮮人権委員会
- ・ Conectas (ブラジル)
- ・ Council for Human Rights in North Korea (カナダ) 北朝鮮人権協会
- ・ Freedom House (米国) フリーダム・ハウス
- ・ Free NK Gulag (韓国)
- ・ Free North Korea Radio (韓国) 自由北朝鮮放送
- ・ Han Voice (カナダ)
- ・ HH Katakomb (韓国)
- ・ Human Rights Watch ヒューマン・ライツ・ウォッチ
- ・ Human Rights Without Frontiers (ベルギー) 国境なき人権
- ・ Inter-American Federation of Christian Lawyers アメリカ大陸キリスト教弁護士連盟
- ・ International Federation for Human Rights (FIDH) 国際人権連盟
- ・ Investigation Commission on Missing Japanese Probably Related to North Korea (COMJAN) (日本) 特定失踪者問題調査会
- ・ Japanese Lawyers Association for Abduction and Other Human Rights Issues in North Korea 北朝鮮による拉致・人権問題にとりくむ法律家の会
- ・ Jubilee Campaign (米国) ジュビリー・キャンペーン
- ・ Justice for North Korea (韓国) 北韓正義連帯
- ・ Kontras (インドネシア)
- ・ Liberty in North Korea - LiNK (米国) 北朝鮮に自由を
- ・ Life Funds for North Korean Refugees (日本) 北朝鮮難民救援基金
- ・ Network for North Korean Democracy and Human Rights (韓国) 北韓民主化・人権ネットワーク
- ・ NK Intellectual Solidarity (韓国)
- ・ No Fence (Association for the abolition of concentration camps in North Korea) (日本) 北朝鮮強制収容所をなくすアクションの会
- ・ North Korea Freedom Coalition 北朝鮮自由連合
- ・ Odhikar (バングラデシュ)
- ・ Open North Korea (韓国) オープン・ノース・コリア
- ・ People In Need (チェコ) ピーブル・イン・ニード
- ・ PSALT NK (Prayer Service Action Love Truth for North Korea)
- ・ The Simon Wiesenthal Center (米国)
- ・ The Society to Help Returnees to North Korea (日本) 帰国者の生命と人権を守る会
- ・ Students Alliance for Human Rights in North Korea (韓国) 北朝鮮人権学生連合
- ・ Young Defectors' Alliance for North Korean Human Rights (韓国)